

平成 21 年度の学力調査結果について

(全国学力状況調査・広島県基礎基本定着状況調査)

【全国学力状況調査の結果と考察】・・・6年生実施 (H21.4月実施)

	全国平均	本校平均	成果と課題	今後の取組み
国語A (知識)	69.9	73.6 (+3.7)	○漢字を読んだり書いたり概ねできる。 △求められることを文章から正しく抜き出せない。	・文章を何度も読み返させ、書いてある内容をつかませる。
国語B (活用)	50.5	60.0 (+9.5)	△目的に応じて情報を読みとったり、分かったことや自分の考えをわかりやすく書いたりすることが苦手である。	・考えたりまとめたりする時間をとる。書くことに慣れさせる。
算数A (知識)	78.7	81.9 (+3.2)	○簡単な計算やグラフの読み取りはできる。 △面積についての感覚が身につけていない。	・重さや面積の感覚を生活と結びつけて考えさせる。
算数B (活用)	54.8	59.8 (+5.0)	○グラフから情報を読み取れる。 △考えが正しいか、判断したり、その理由を書いたりすることが苦手である。	・考えを説明したり、ノートにまとめたりする活動を増やす。

【質問紙調査の結果と考察】

この調査では、学習や生活についての意識調査も行われました。全国平均にくらべ、肯定的な回答率の差が顕著な項目をお伝えします。

家の人と普段、朝食を一緒に食べますか。	全国 (60.7%) 大入小 (33.3%)
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	全国 (59.9%) 大入小 (88.9%)
「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか。	全国 (73.6%) 大入小 (100%)
授業で自分の考えを発表する機会がありますか。	全国 (79.7%) 大入小 (100%)

(考察) 全国平均と比べ、肯定的に回答した項目が多かったです。学習や生活が比較的充実していると考えます。朝食については各家庭で工夫して頂きたいと思います。

【広島県基礎基本定着状況調査の結果と考察】・・・5年生実施（6月実施）

1. 国語について（正答率%）

	県平均	本校平均	成果と課題	今後の取組み
<b>国語全体</b>	<b>75.0</b>	<b>78.6</b>	・主語と述語との関係に注意すること。 ・考えが明確になるように段落相互の関係を考えて書くこと。	・音読や視写を多く取り入れると共に日頃から主述を意識させる。 ・説明的文章の指導を丁寧に行う。
（聞くこと）	78.5	81.5		
（書くこと）	40.6	48.1		
（読むこと）	67.0	61.9		
（言語事項）	65.2	62.5		

2. 算数について（正答率%）

	県平均	本校平均	成果と課題	今後の取組み
<b>算数全体</b>	<b>79.8</b>	<b>88.0</b>	・重さの目盛りを正しく読むこと。 ・伴って変わる2つの数量の関係を見つけること。	・日常生活の中で重さを測定する機会をもつ ・算数科だけでなく理科などでも2つの数量の関係を意識させる。
（数と計算）	80.9	83.3		
（量と測定）	70.6	77.8		
（図形）	69.8	80.6		
（数量関係）	77.2	77.8		

3. 生活と学習に関する意識・実態調査について

調査結果から見られる児童の姿	今後の取組み
○1日のテレビやビデオの視聴、ゲーム等時間が長い。（4時間以上が約50%） ○自己肯定感が低い。（78%が低い方に回答） ○文章を書くことに苦手意識がある。	○メディアリテラシー等の学習を継続して行う。テレビやゲームに代わる読書やスポーツの紹介をする。 ○全校道徳等でお互いの良さを認め合う。 ○自分の悩みを話せる場をつくる。 ○日記や文章を書かせ、慣れさせる。

4. 考察

子どもたちに確かな学力をつけ、豊かな心を育むために、生活の見直しが必要と考える。また、自己肯定感が持てるように、長所を認める言葉かけを続けて行いたい。